

Title	編集後記 三田哲学会行事報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1983
Jtitle	哲學 No.77 (1983. 12) ,p.225- 225
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000077-0225">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000077-0225</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

本号の投稿申込みは7月20日に締切られましたが、その時点では26篇の応募がありました。

夏休み前ということもあり、会員の皆様の執筆意欲が倍増されたことと喜ぶ一方で、もしこれだけ多くの論文が投稿されたならばどうしようか、との不安がありました。

この心理状態はまことにアンビバレントなものです、前者は原稿を集める立場、後者は限られた予算をやりくりせざるをえない立場ということをお考え下さい。これが、ご了解いただけるものと思いま

す。

ところが9月30日の原稿締切日までに集まってきたのは9篇でした。一寸拍子抜けの体でしたが、それはともかくとして、この9篇について編集委員会で検討致しました結果、8篇が採用となりました。

☆

次号の発行計画は投稿申込みの締切が12月15日、原稿締切が1月31日の予定です。

会員の皆様のご投稿をお願い致しま  
す。  
(三井宏隆)

### 三田哲学会行事報告

1983年

◇7月2日 講演会（図書館記念室、午後3時より）

○演題・講師（敬称略）

「もの」と「こと」——主語主義と述語主義——

松本正夫（慶應義塾大学名誉教授）

「Idea, Species, Habitus」——スコラ認識説の一考察——

稻垣良典（九州大学教授）

◇10月27日 小泉基金による特別講演会（図書館記念室、午後3時より）

○演題・講師（敬称略）

「Are there recurrent problems in philosophy?」——哲学の根本問題——

F. C. Copleston（英國学士院会員、ロンドン大学名誉教授）

◇10月27日 昭和58年度三田哲学会委員会（C会議室、午後2時半）

○審議及び承認事項

昭和57年度会計報告（承認）

昭和58年度予算案（承認）

役員の一部交代（涉外担当幹事として西脇与作君新任の件）（承認）